

人にも動物にも優しいまちへ

かやま 玲子
(市民自治フォーラム)



【質問】 災害時のペット同伴避難所の設置について、市の見解を伺う。

【質問】 本市は同一空間で一緒に過ごす同伴避難でなく、敷地内に屋外設置の飼養場所に避難する同行避難としている。在宅避難や知人宅への分散避難など状況に応じ対応いただきたい。

【要望】 避難を諦めざるを得ない市民のため、同伴(同室)避難可能な専用施設の設置を求める。

【質問】 安否確認付き高齢者配食サービスの利用食数に、①20年前、10年前、直近の推移、②減少に対する市の見解は。

【質問】 令和5年度5万5306食、同24年度2万7281食、令和4年度9645食。②在宅高齢者の食事確保を取り巻く環境が多様化している。月100人前後が利用し、一人暮らし高齢者等の見守りなど、生活支援を行う意義のある事業と考える。

より一層の男女共同参画の推進を

問宮 美季
(市民自治フォーラム)



【質問】 当市の女性係長職の割合は他市と比べ低く、職員課も改善に取り組んでいるが伸び悩んでいる現状と考える。生活文化課、市民部が一定の権限を持ち、改善要求などできるようにすべきと考えるが見解を伺う。

【質問】 現場の職員の意見を聞きながら、職場環境の改善や業務負担の平準化などに取り組む、よりよい風土をつくっていただきたい。

【質問】 こども家庭庁から示された「保育所等における虐待等の防止及び発生時の対応等に関するガイドライン」を受けた現場の状況把握や助言等を公設民営や民設民営の認可保育園に対して行うことができるのか。

【質問】 日々の連絡や相談の中で各保育施設等からお話があげられるものと考えている。既に各保育施設等に周知を図っているが、各私立園長会や会議等に改めて周知を図っていただきたい。

多様な保育サービス拡充と質向上を

梶井 琢太
(市議会公立憲民主)



【質問】 保育士による虐待など検査の重要性が増す中、指導検査の実績は。

【質問】 昨年度は小規模保育施設1カ所、家庭的保育施設1カ所に検査を実施。

【質問】 実施回数を増やすのは可能か。

【質問】 今年度は都の指導検査の方針も確認しつつ実施について検討したい。

【質問】 医療的ケア児受け入れ検討は。

【質問】 検討会議で受け入れスキームを検討した。今後は医師も参加する委員会を立ち上げ具体のケースを検討する。

【質問】 受け入れガイドラインの整理は。

保育園の待機児童がゼロに

佐藤 一郎
(東久留米維新の会)



【質問】 令和5年4月当初の待機児童数と、各年齢区分における施設の空き状況を伺う。

【質問】 令和5年4月1日における待機児童数は昨年の同時期から7人減となり、生じていない。また、同時期における各施設の入所空き状況の合計は、ゼロ歳が69名、1歳が17名、2歳が25名、3歳が8名、4歳が6名、5歳が17名となっており、昨年の同時期から1名増の合計14名となっている。

【質問】 ゼロ歳児の空きが昨年同時期よりも24名増えている。ゼロ、1、2歳しか保育していない小規模保育施設や、家庭的保育施設は経営が厳しくなると思われる。公設公営保育所のゼロ歳児の定員数を大幅に減らしてもいいのではないかと考えるが市の見解は。

【質問】 公設公営保育所の定員については、待機児童や保育施設の空き状況を踏まえ、必要な対応を考えていく。

市政のここが聞きたい

第2回定例会の一般質問は、6月8日・9日・12日・13日の4日間でわれ、21名の議員が当面する市政運営について市長の姿勢や考え方を質問しました。主な内容を掲載します。一般質問を含む第2回定例会の本会議の録画映像は、市ホームページのインターネット映像配信でご覧いただけます。会議録は、8月下旬から、市ホームページ(PDF版は8月中旬)または、市立図書館、各コミュニティ図書室、市政情報コーナー(市役所1階)でご覧いただけます。

賑わいのあるまちづくり

篠宮 よしのり
(自民クラブ)



【質問】 笠松坂周辺の拡幅整備について、未整備部分においても都の事業認定の審査が行われているとのこと。事業認定後の事業の流れについて伺う。

【質問】 都へ権利取得と明け渡しの際の申請を行う。申請が受理されると、市において受理された書類の写しを公告の上、2週間縦覧される。縦覧期間後、裁決手続の開始が決定されると、都で審議が行われ、権利者の意見を聞いた上で、収用する土地や明け渡しに関する損失の補償などが決まる。裁決が言い渡されると、市は権利者に補償金を支払い、権利者は市へ土地および物件を明け渡すこととなる。

【質問】 都立六仙公園について、市内外から子どもや子育て世代が集える公園整備を期待するが、市の見解は。

【質問】 こどもから大人まで楽しめる空間、地域のレクリエーションの場として整備されるよう、都と連携を図る。

持続可能なまちづくり！

沢西 卓哉
(自民クラブ)



【質問】 所沢街道について、スクールゾーンの歩道帯の設置予定を伺う。

【質問】 平成29年に取り交わした都道東京所沢線(第4号)歩道整備事業に関する基本協定書では、用地取得に関する業務を市が、構築に係る設計・調査や工事に関する業務等を都が担うこととし、都が進めている予備設計の中で、対応されていくものと考えている。

【要望】 児童生徒の命を守るためにスクールゾーンの歩道帯には、より優れた強度性能のある柵を設置するよう、都との協議を要望する。

【質問】 オンライン市役所の導入に当たっての検討の方針について伺う。

【質問】 市民目線として、みんなが持っているデバイス(スマホ)で使えるサービスを提供する、みんなが使っているアプリ(LINE)を活用してサービスを提供する、みんなが簡単に使えるサービスを提供する、とした。

夏場の暑さから子どもたちを守れ！

高橋 和義
(公明党)



【質問】 都市公園に隣接する清掃施設跡地について、①活用方法、②宅配ロッカーの設置数、③事業趣旨等のPRについて伺う。

【質問】 ①宅配ロッカーの設置に向け検討を進めている。②5カ所から10カ所程度の設置を見込んでいる。③設置主体と協議を行いながら検討を進める。

【質問】 学童保育所で借用している特別教室等のエアコンについて、設置されていない、または故障により使用できない4校の対策について伺う。

【質問】 エアコンのレンタル、スポットクーラーおよびサーキュレーターの使用などによる臨時的な対応を検討している。また、児童の利用状況により、一時的に代替の特別教室等の借用の調整を図っていく。故障の場合は、交換に向け教育委員会と調整を図っていく。

【要望】 この夏場の対策をしっかりと取っていただきたい。

次は「行かない窓口」実現が可能に

阿部 利恵子
(公明党)



【質問】 行政のデジタル化について、①「お手間を取らせない市役所」実現に向けた検討状況は、②総合窓口化も含め、市が目指す方向性は。

【質問】 LINE公式アカウント導入による来年度のオンライン市役所の実現に向け、複数の事業者からデモンストラクションを受けるなど進めている。

【質問】 オンライン市役所の実現により利便性の向上が図られ、総合窓口化も包含でき、相談支援等への一層の注力が可能になる。本市が目指す「あんしんして暮らせるまち」実現へと結びつける。

【質問】 本市の期日前投票所は市役所1カ所のみ。増設の検討の可能性について、状況を伺う。

【質問】 設置場所をわくわく健康プラザ講堂として費用を積算したほか、突発時の選挙の際の投票スペースの確保についても検討している状況である。

誰にとっても優しい市役所へ

鴨志田 芳美
(日本共産党)



【質問】 UDTトークを透明な亚克力板のディスプレイに投影させる機械を設置し、職員同士のコミュニケーションなどで使用している自治体がある。当市の総合窓口にも設置すべきと考えるが見解を伺う。

【質問】 本年4月より、障害福祉課窓口で聴覚障害者等コミュニケーション支援ツールとしてタブレット端末を設置し、遠隔通訳サービスとUDTトークの活用を開始した。まずはこの利用状況などを見ていきたい。

【質問】 学童農園とはどういったものなのか伺う。

【質問】 種まきや収穫などの体験ができる、対象をこどもに特化した体験型農園のようなもの。現時点で市が指定しているものはないが、類似する取組として、小山小学校において、近隣の農地を貸借し、児童が農作業を体験している実態があると聞いている。

コロナ5類移行後も医療経済支援を

北村 龍太
(日本共産党)



【質問】 他自治体の小中学校の校庭でくまが発見されたことを受け、市立小中学校で行われた緊急の安全点検等に関連して、①市内の学校で使用されているベグの形状や使用用途は、②金属探知機による点検は行わないのか。

【質問】 ①形状はU字型や「し」の字型で、コースロープの固定や白線を引く際のポイントマークとして使用。②ベグの管理簿を作成し、安全管理を行うことを考えており、現段階で金属探知機による点検は考えていない。

【質問】 5類移行後も新型コロナウイルス感染症の感染者は増えている。医療・経済的支援がまだ必要であり、国や都に対して支援を求めていくべきと考えているが、見解は。

【質問】 今までも市長会要望において要望しており、令和6年度に向けても要望する動きがあると聞いているため、市としての要望は考えていない。